

渋谷ラル日本語学院 自己点検・評価

日本語教育機関名 : 渋谷ラル日本語学院 (493)
点検・評価実施日 : 2022年4月1日
実施責任者 : 高橋 慶太、陳 ルーラー
実施担当者名(役職名) : 高橋 慶太(校長)、陳 ルーラー(事務局長)

小項目の評価は以下の分類とし、「 」に記号を記入する。

5 : 達成している 4 : ほぼ達成している 3 : どちらともいえない 2 : 取り組みを検討中 1 : 改善が必要

1 教育の理念・目標

1-1 教育理念・・「5」

本校の学生には、日本語、日本文化を学ぶことを通して、他者の異なる文化、多様性を理解し、思考して、自分の考えを表現できる力を培っていただきたいと思います。

1-2 教育目標・・「5」

- ・ 4技能(読む、書く、話す、聞く)をバランスよく学び、実践的な日本語力を身に付ける。
- ・ 自律的な日本語学習能力を身に付ける。
- ・ 自己のアイデンティティを大切にしながら異文化を受け入れられる価値観や包容力を養う。

1-3 育成人材像が明確となっている・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・「5」

諸外国の若者たちに日本語や日本文化を学ぶ場を提供することで相互理解を深め、ビジネスや文化における国際交流の架け橋となる人材を育成していきたいと考えています。

1-4 教育理念と教育目標が教職員に周知されている・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・「5」

<現状・具体的な取り組み/課題>

- ・ 新入社員教育及び週1回の教職員全体会議等を通じて、教職員全員で学校教育理念・目標の理解を徹底している。

2 学校運営

2-1 学校の運営体制が日本語教育機関の告知基準を満たしている・・・・・・・・・・・・・・・・・・「5」

2-2 学校の理念や目標に沿った運営方針や事業計画が策定されている・・・・・・・・・・・・・・・・・・「5」

2-3 運営組織や意思決定機能は確立され、効率的なものになっている・・・・・・・・・・・・・・・・・・「5」

2-4 人事や賃金での処遇・職場環境の改善に関する制度は整備されている・・・・・・・・・・・・・・・・・・「5」

2-5 学校運営を客観的に評価し、維持向上させる機能が整備されている・・・・・・・・・・・・・・・・・・「5」

2-6 施設・設備は教育上の必要性及び学生の安全確保に十分対応できる整備されている・・・・・・・・・・「5」

<現状・具体的な取り組み/課題>

- ・ 運営方針や事業計画は、定期的開催しているグループ教育関連事業本部会議により決められており、教職員全員にも示されている。
- ・ 人事や賃金での処遇については、明確な評価(昇格・昇給)基準等が定められている。
- ・ 学校運営については、週1回の教職員全体会議で各部署の仕事進捗状況と課題等が議論され、運営方針や事業計画の実現に向けた意思確認がなされており、効率的運営のための体制が整っている。
- ・ 施設・設備に関しては、法務省が示している基準に適合し整備が行われている。また、法務省による実地審査も受けている。

3 教育活動

- 3.1 カリキュラムは体系的に編成されている・・・・・・・・・・・・・・・・・・「5」
- 3.2 授業評価の実施・評価体制はある・・・・・・・・・・・・・・・・・・「5」
- 3.3 目標に向け授業を行うことができる要件・資質を備えた教員を確保している・・・・・・・・・・「5」
- 3.4 成績評価は適切に行われている・・・・・・・・・・・・・・・・・・「5」
- 3.5 各種日本語試験の認定率向上のための指導体制は整っている・・・・・・・・・・・・・・・・・・「5」

<現状・具体的な取り組み／課題>

- ・入学時に学習者の日本語能力をプレースメントテストで判定し、適切なクラス編成を行っている。また、定期的にテストを行い、その結果によりクラスを再編成し、効率よく学べる体制を整備している。
- ・授業評価を含む教育活動の評価を定期的に行っている。
- ・教員の採用時には、教師要件の確認のみならず、模擬授業をしてもらい、教務主任が当校の職員として十分な資質があると認めた教員を採用している。
- ・成績評価基準及び判定方法が明確に定められており、成績判定結果を的確に学生に伝えている。また、成績評価基準及び判定方法の妥当性に関して、定期的に検証している。
- ・通常の授業に加え、定期的に JLPT 及び EJU の受験対策クラスを校内にて開催しており、認定率向上のための組織的指導体制が確立されている。

4 入学者の募集と受け入れ

- 4-1 学生の受け入れ方針は定められている・・・・・・・・・・・・・・・・・・「5」
- 4-2 学生募集活動は、適切に行われている・・・・・・・・・・・・・・・・・・「5」
- 4-3 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられている・・・・・・・・・・・・・・・・・・「5」
- 4-4 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われている・・・・・・・・・・・・・・・・・・「5」
- 4-5 海外の学生募集機関の行う募集活動が適切に行われていることを把握している・・・・・・・・・・「5」
- 4-6 適正な定員設定及び在籍者数になっている・・・・・・・・・・・・・・・・・・「5」

<現状・具体的な取り組み／課題>

- ・学生の受け入れ方針は当校の教育理念・目標に照らして定められている。
- ・学生募集については、お互いに教育理念・目的を確認し、理念の共通する学生募集機関とのみ契約書を交わし提携している。また、入学者の選考に関して、学校職員が入学希望者全員を面接し、日本語学習目的・学歴・支弁能力などを確認したうえで、当校が定めた基準に満たす優秀な学生のみを受け入れている。
- ・JLPT 成績、進学・就職実績などの教育成果については、正確に提携している学生募集機関に伝えている。また、学生募集機関にその情報を入学希望者に説明するよう求めている。
- ・入学選考については、入学希望者から提出された書類は、学校内において適正かつ公平に審査し、手続きが行われている。
- ・海外の学生募集機関の行う募集活動が適切に行われているかどうかに関しては、入国後の学生を対象にヒアリングを行い、不正に手数料を徴収していないか、現地での日本語教育を適切に行われているか、学校に関する説明に齟齬がないか等を確認している。

5 納付金

- 5-1 納付金に関する規定は定められている・・・・・・・・・・・・・・・・・・「5」
- 5-2 上記規定を海外の学生募集機関、入学希望者及びその経費支弁者に正確に伝えている・・・・・・・・・・「5」

<現状・具体的な取り組み/課題>

- ・入学検定料、入学金、授業料その他納付金の金額、納付時期、納付方法、返還規定等は定められており、またそれらの規定をホームページ、パンフレット、募集要項等に明記している
- ・上記規定を海外の学生募集機関に伝えている。また、海外の学生募集機関にこれの規定を入学希望者及びその経費支弁者に理解できる言語で説明するよう求めている。

6 学生支援と在留管理

- 6-1 日本法令・文化を理解し、日本社会に適応するための取り組みを行っている・・・「5」
- 6-2 進路指導を適切に行っている・・・「5」
- 6-3 学生の心身の健康管理・事故・怪我サポートを担う体制があり、有効に機能している・・・「5」
- 6-4 入管法上の留意点について学生への伝達、指導を定期的に行っている・・・「5」
- 6-5 保護者と適切に連携している・・・「5」
- 6-6 常に最新の学生情報を把握している・・・「5」

<現状・具体的な取り組み/課題>

- ・入学時のオリエンテーションに加え、都庁職員による日本法令講習会も開催している。また授業中に日本文化のなどの内容も取り入れており、日本社会に適応するための取り組みを行っている。
- ・進路説明会を実施している。またクラス担任と事務局担当職員が定期的に学生ヒアリングを行い、学生の要望を把握したうえで、適切な進路指導を行っている。
- ・当校はベトナム語、英語、中国語、モンゴル語が堪能な職員が勤務しており、学生からの相談には母国語で対応できるよう体制を整えている。また、体調不良の学生に関しては、職員による病院への同行もしている。さらに、緊急時に備えて、24時間対応可能な緊急連絡先も学生に周知している。
- ・入管法上の留意点と改正点について、入学時のオリエンテーション、都庁職員による法令講習会で周知している他、クラスでも随時行っている。
- ・勉学態度及び出席が悪い学生に関して、学生募集機関経由か直接学校職員によって、保護者に状況を通達したうえで、学校と連携し学生を指導するよう求めている。
- ・3か月に1回、在校生調査を行い、学生の生活とアルバイト状況を確認している他、教職員によるヒアリングを定期的を実施しており、最新の学生情報を把握するよう努めている。

7 財務

- 7-1 中長期的な財務基盤が安定している・・・「5」
- 7-2 収支予算が有効かつ妥当な計画になっている・・・「5」
- 7-3 財務について監査が適切に行われている・・・「5」
- 7-4 財務情報公開の体制整備はできている・・・「2」

<現状・具体的な取り組み/課題>

- ・当校の経営母体である株式会社 LALL ヒューマンホールディングスにおいては、中長期的にみて問題のない財務基盤が確立されている。
- ・新年度の収支・予算計画については、グループ内で審議され、承認を受けており、有効かつ妥当なものになっていると言える。
- ・財務について、適切な会計処理を行い、監査役が適切に監査している。
- ・財務情報公開については、現在検討中である。

8 安全・危機管理

- 8-1 対象となる学生全員が国民健康保険に加入している・・・「5」
- 8-2 感染症発生時の措置を定めている・・・「5」
- 8-3 気象警報発令時の措置、災害発生時の避難方法等を定め、教職員及び学生に周知している・・・「5」

<現状・具体的な取り組み／課題>

- ・学生全員が国民健康保険に加入している他、留学生保険にも加入している。一部の病気以外、医療費の負担がほぼなくなる。
- ・保健所と連携し、結核の検査を年1回実施している。また新型コロナ、ほかの感染症の予防及び発生時の措置も定めている。
- ・気象警報発令時の措置、火災発生時の避難方法等を定め、教職員及び学生に周知しているほか、毎学期防災訓練を行うことで、学生と教職員の防災意識を啓発している。

9 法令の遵守等

- 9-1 法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされている・・・「5」
- 9-2 個人情報に関して、その保護のための対策が取られている・・・「5」
- 9-3 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めている・・・「5」
- 9-4 関係省庁等への届出、報告を遅滞なく行っている・・・「5」
- 9-5 自己点検・自己評価結果を公開している・・・「5」

<現状・具体的な取り組み／課題>

- ・当校は法令、設置基準等の規定を正確に理解し、運営している。
- ・個人情報に関して、運営会社であるLALLヒューマンホールディングスでは、「プライバシーポリシー」を規定しており、当校教職員全員もそれを遵守し、個人情報の保護に努めている。
- ・自己点検・評価の問題点などを教職員全員で共有し、その改善に努めている。
- ・東京入国管理局への定期報告なども適正に遅滞なく行われている。
- ・自己点検・自己評価結果を学校ホームページに公開している。

10 社会貢献

- 12-1 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っている・・・「4」
- 12-2 学生ボランティア活動を奨励・支援している・・・「4」

<現状・具体的な取り組み／課題>

- ・授業を実施していない日及び平日17時以降の時間帯なら、地域住民及び子供たちが校舎前の空きスペースなどの利用を許可している。現在はその空きスペースが地域の子供たちのキャッチボールとバドミントンを練習する場所になっている。また、校舎前にベンチを2つ設置しており、地域住民の方の休憩場所にもなっている。
- ・地域の祭り、行政主催のイベント等の情報を積極的に学生に周知している。また学生が日本語の心配で参加を躊躇した時に、学校職員ができる限り一緒に参加し学生の不安を払しょくするなどの支援をしている。